

IBM TotalStorage
SAN ボリューム・コントローラー



正誤表

バージョン 2.1.0

IBM TotalStorage
SAN ボリューム・コントローラー



正誤表

バージョン 2.1.0

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： SC26-7750-00
IBM TotalStorage SAN Volume Controller
Errata
Version 2.1.0

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2005.3

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2003, 2005. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2005

目次

表	v	最大構成	3
第 1 章 概要	1	サポートされるホスト・アタッチメント	5
第 2 章 訂正された資料トピック	3	オープン・システム・ホストのサポート	6
		索引	9

表

1. 訂正されたトピックおよび対応する資料 . . . 1
2. SAN ボリューム・コントローラーの最大構成値 3

第 1 章 概要

本書には、異なる SAN ボリューム・コントローラー資料で現れるトピックの訂正版が含まれています。

これらのトピックは、SAN ボリューム・コントローラー 2.1.0 が次のものをサポートしていることを正確に反映しています。

- 64 のホスト
- 128 のホスト・ポート

表 1 には、本書に含まれるトピックおよびこれらのトピックが現れる資料が記載されています。

表 1. 訂正されたトピックおよび対応する資料

トピック	影響がある資料
最大構成	<i>IBM TotalStorage SAN ボリューム・コントローラー: 計画ガイド</i> , <i>IBM TotalStorage SAN ボリューム・コントローラー: 構成ガイド</i>
サポートされるホスト・アタッチメント	<i>IBM TotalStorage SAN ボリューム・コントローラー: 計画ガイド</i>
オープン・システム・ホストのサポート	<i>IBM TotalStorage SAN ボリューム・コントローラー: ホスト・アタッチメント・ガイド</i>

第 2 章 訂正された資料トピック

このセクションには、SAN ボリューム・コントローラー 2.1.0 資料に現れるトピックの訂正版があります。

最大構成

SAN ボリューム・コントローラーの最大構成について、内容をよく理解してください。

表 2 には、SAN ボリューム・コントローラーのインストールを計画する際に検討する必要のある最大構成値が記載されています。

表 2. SAN ボリューム・コントローラーの最大構成値

オブジェクト	最大数	コメント
クラスター・プロパティ		
ノード	8	4 つの I/O グループとして配置されます。
I/O グループ	4	それぞれに 2 つのノードが含まれます。
MDisk グループ	128	---
MDisk	4096	コントローラーあたり平均 64 を表します。
MDisk グループごとのオブジェクト MDisk	128	---
MDisk サイズ	2 TB	32 ビット LBA 限度で定義されます。
アドレス可能 度	2.1 PB	最大エクステント・サイズ 512 MB、マップ内の 2 [^] 22 エクステントの任意の限度。
LU サイズ	2 TB	32 ビット LBA 限度で定義されます。
ノードごとの 並行 SCSI タ スク (コマン ド) 数	10000	---
ノードごとの 並行コマンド 数	2500	バックエンド待ち時間 100 ミリ秒を想定しています。
FC ポートご との並行コマ ンド数	2048	---

表 2. SAN ボリューム・コントローラーの最大構成値 (続き)

オブジェクト	最大数	コメント
SDD	ホストごとに 512 の SAN ボリューム・コントローラー vpath	ホストにマップされる VDisk ごとに vpath が 1 つ作成されます。SAN ボリューム・コントローラーでは、ホストにマップできる VDisk は 512 個に制限されていますが、次のいずれかにより、SDD の限度を超えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • 1 つの物理ホストについて 2 つ (またはそれ以上) のホスト・オブジェクトを作成し、複数のホスト・オブジェクトを使用して 512 を超える VDisk をホストにマップする。 • 2 つ (またはそれ以上) のクラスターを作成し、複数のクラスターを使用して 512 を超える VDisk をホストにマップする。 <p>注: これらの操作はどちらもサポートされていません。</p>
MDisk グループごとの VDisk 数		クラスター限度が適用されます。
フロントエンド・プロパティ		
SAN ポート	256	すべての SAN ボリューム・コントローラー・ノードを含む、ファブリックの最大サイズ。
ファブリック	2	複式ファブリック構成。
クラスターごとのホスト ID の数	64	ホスト ID は、SCSI LUN を VDisk と関連付けるマップ・テーブルと関連付けられます。また、1 つ以上のホストのワールド・ワイド・ポート名とも関連付けられます。
クラスターごとのホスト・ポート数	128	最大 128 の別個のホストのワールド・ワイド・ポート名が認識されます。
ホスト LUN サイズ	2 TB	32 ビット LBA 限度で定義されます。
仮想ディスク (VDisk)	4096	管理対象モード VDisk とイメージ・モード VDisk を含みます。
I/O グループごとの VDisk	1024	---
ホスト ID ごとに VDisk	512	この限度は、ホスト・オペレーティング・システムにより異なります。
VDisk からホストへのマッピング	20 000	---
永続予約鍵の最大数	132 000	---
バックエンドのプロパティ		
管理対象ディスク (MDisk)	4096	ワールド・ワイド・ノード名あたり平均 64 を表します。

表 2. SAN ボリューム・コントローラーの最大構成値 (続き)

オブジェクト	最大数	コメント
バックエンド・ストレージ WWNN	64	デバイス・ファブリックのワールド・ワイド・ノード名の最大数。
バックエンド・ストレージ WWPN	256	コントローラーごとに 16 ポート
バックエンド WWNN ごとの LU	4096	各ワールド・ワイド・ノード名ごとに最大 512 の LU が提示されます。
サブシステムごとの WWNN 数	4	---
WWNN ごとの WWPN 数	16	ワールド・ワイド・ノード名ごとのポートの最大数。
サブシステムごとの優先ポート	4	
コピー・サービス・プロパティ		
クラスター当たりのメトロ・ミラー関係	1024	---
メトロ・ミラー整合性グループ	32	---
I/O グループ当たりのメトロ・ミラー VDisk	16 TB	---
FlashCopy [®] マッピング	2048	整合性グループごとに最大 512 の FlashCopy マッピングがサポートされます。
FlashCopy 整合性グループ	128	---
I/O グループごとの FlashCopy VDisk	16 TB	---

サポートされるホスト・アタッチメント

IBM Web サイトでは、サポートされるホスト・アタッチメント・オペレーティング・システムに関する最新情報を提供しています。

サポートされるホスト・アタッチメント・オペレーティング・システムのリストについては、以下の SAN ボリューム・コントローラー Web サイトを参照してください。

<http://www-1.ibm.com/servers/storage/support/virtual/2145.html>

SAN ボリューム・コントローラーでは、オープン・システム・ホストのための記憶容量とワークロードを統合できるように、異機種ホスト・アタッチメントを提供します。SAN ボリューム・コントローラーは、ワールド・ワイド・ポート番号 (WWPN) により識別される最大 64 の個別のホストと最大 128 のホスト・ファイバー・チャンネル・ポートをサポートします。

ホストは、スイッチ・ファイバー・チャンネル・ファブリックを使用して SAN ボリューム・コントローラーに接続されます。

オープン・システム・ホストのサポート

SAN ボリューム・コントローラー をファイバー・チャンネル (SCSI-FCP) オープン・システム・ホストに接続できます。

ホストは、スイッチ・ファイバー・チャンネル・ファブリックを使用して SAN ボリューム・コントローラー に接続されます。SAN ボリューム・コントローラーは、ワールド・ワイド・ポート番号 (WWPN) により識別される最大 64 の個別ホストと最大 128 のホスト・ファイバー・チャンネル・ポートをサポートします。各 SAN ボリューム・コントローラーファイバー・チャンネル・アダプターには 2 つのポートがあります。

ユーザーは、ポートを SCSI-FCP 上層プロトコルを使用する構成にすることができます。SCSI-FCP (ファイバー・チャンネル・プロトコル) サポート用に構成されたファイバー・チャンネル・アダプターは以下をサポートします。

- ファイバー・チャンネル・ポートごとに最大 128 ホスト・ログイン。
- SAN ボリューム・コントローラー ごとに最大 512 SCSI-FCP ホスト・ログイン、または SCSI-3 イニシエーター
- ターゲットごとに最大 4096 の論理装置番号 (LUN) (ホスト・アダプターごとに 1 ターゲット)、ただしホスト・タイプによる。
- 切り替え可能のファブリック・トポロジー

SAN ボリューム・コントローラーは以下のホスト・システムの短波長ファイバー・チャンネル接続機構と長波長ファイバー・チャンネル接続機構をサポートします。

- Hewlett Packard サーバーで HP/UX オペレーティング・システムが実行可能なもの
- IBM® RS/6000®, pSeries™, RS/6000 SP™、および pSeries SP サーバーで、IBM AIX® オペレーティング・システムが実行されるもの
- Linux を稼動する Intel ベースのサーバー、Microsoft® Windows® 2000、Windows 2003、および WindowsNT オペレーティング・システム
- Solaris オペレーティング・システムを稼動する Sun サーバー
- 各種ゲスト・オペレーティング・システム上で稼動する VMware サーバー
- NetWare オペレーティング・システムを稼動する Novell NetWare サーバー

IBM がサポートする、ホスト・システム、オペレーティング・システムのレベル、ホスト・バス・アダプター (HBA)、ケーブル、およびファブリックの最新情報については、以下の IBM Web サイトを参照してください。

<http://www.ibm.com/servers/storage/software/virtualization/svc>

<http://www-1.ibm.com/servers/storage/support/virtual/2145.html>

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

オープン・システム・ホスト
ファイバー・チャンネル 6

[カ行]

構成
最大サイズ 3

[ハ行]

ファイバー・チャンネル
ホスト・システム 6
ホスト 6
ホスト・システム
ファイバー・チャンネル 6



Printed in Japan

SD88-6609-00



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12